向陽新聞
発行所
高知市春野町９７
土佐高等学校新聞部
編集人　秦　道夫
発行人　岡林　敏真
印刷　高知印刷

高橋寫真館
高知市南播磨屋町
電話三一五八番

委員会に動き

学園明朗化　発言権強化

前学期の同盟休校で残された課題である学園明朗化と発言権強化が今学期の生徒委員会でとりあげられ、合同調査委員会、女子の制服、特待生の生徒委員会から推薦などに関する諸問題が討論・決議され実行に移されようとしており、学園明朗化が一般生徒からも強く注目されるに至っている。

議事録の発表要求
女子の制服設定も決議

調査委員会

学園明朗化について、九月九日（金）六時間目に全校一斉にホームルームが行なわれ、活発な議論を展開。十二日（月）には第一回中学高校合同委員会が、さらに二十一日（水）二十二日（木）二十三日（金）と連日高校委員会が開かれ、各ホームの意見をまとめて本格的な段階に入った。

最初に「漏洩問題追究の合同調査委員会が解散したが、その解散理由が不明瞭であるからもう一度くわしく説明せよ。また調査を悉くたとえば某先生にはこんなうわさがあった、という群細と議事録を発表し、その後で質問をも受けよ」と「H・H・Kなどから提案され、討論に移り

岡林委員　調査の全部を発表せよというのは、行き過ぎではないか。単なるうわさまで発表すればその先生は迷惑だし、生徒も授業中疑いの目で見たりして、先生と生徒の間に溝が出来はしないか。

松崎委員　自分にやましい点がなければ堂々と白を主張出来るであろうし、調査委員会内部に秘密もなくなりすっきりするだろう。現状では闇から闇に葬むられているような気がしてならない。

など賛否両論が激しく応酬。結局賛成十九票で出席委員三十六名の過半数を制し可決した。

九月二十二日（木）の第七回生徒委員会では「女子の制服をきめて欲しい」（二H提案）との議題が提案され、出席女子委員全員かとれに賛成し男子委員も同調したのでほゞ全会一致で可決、具体案として「PTAと生徒（男子を含む）で制服委員会を作る」ことに決り学校側に要求することとなった。

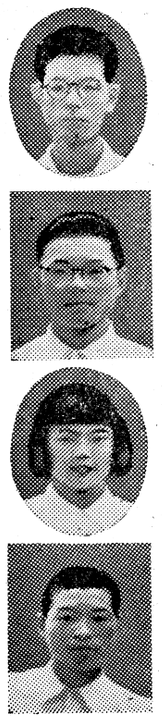
さらに、生徒の発言権強化の一端として（一）校長と生徒の話し合いを月一回持つこと（一）特待生を各学年の生徒委員が推薦する、などと学園明朗化の意欲は日一日と高まっている。

なお出席委員十七名と定員数二十七名に満たないという出席率の悪かった二十二日（金）の第八回生徒委員会では、開会不能の状態となったが「三回欠席すれば、委員の辞職をその出身クラスに勧告し代理委員を出席させる」と決議して閉会。第二回委員会で「顧問の先生はおかず」との決議を撤回「すべての面で、便利だから必要だ」として町田先生を再たび顧問の先生になっていただくよう要請委員及び生徒の協力を期待している。

次に学園明朗化に関する決定事項（高校委員会）をみてみると次の七項である。

一、生徒間の親密をはかるため、遠足を学年の始めと終りの二回行なうこと。

一、自転車置場が少ないため、二キロメートル以内から乗ってきている人は今後乗らないようにして



岡林委員長　福井副委員長　梶書記　板原進行係

学園明朗化に重点
委員長に岡林君 新四役決る

新学期を迎えた九月一日（金）三十一人の新生徒委員の互選により新らしい四役を決定した。新四役には、委員長に前学期進行係として活躍、合同調査委員会の一員として漏洩問題追究した岡林功君（二O）副委員長に福井務君（二T）書記長に唯一人の女生徒梶真智子さん（一T）進行係に板原正伸君（一K）の顔ぶれ。

一学期の持ち越し議題である学園の早期明朗化と生徒の発言権強化をいかに具体化するか、委員長の手腕が期待されている。

岡林委員長談　今学期は前学期から持ち越しの学園明朗化に重点をおいてやってゆきたいと思う。その第一は盗難事件で、とくには書物の盗難が多いがいやしくも学校という我々純真な青年社会において盗難事件は絶対に許すべからざることであるからこれを徹底的に絶滅したい。

合同調委解散す
一部にある批判の声

前学期の同盟休校の解決案として中学入試事件は、一応解決したとし、また残された問題である学園明朗化、生徒の発言権強化の両問題に関しては生徒側の活動を待つことになり、第二回高校生徒委員会に提出し、生徒委員会はこれを賛成二十一、反対三で認め、合同調査委員会は正式に解散したが、合同調査委員会の議事録は一般には発表されていないので、この点や解散理由に対する批判が高まっており、高校生徒委員会にもこの問題が提出されている。

高校二年Tホーム福井君の話　高校の生徒委員会でも問題になっているが、私も合同調査委員会が議事録を独断で一般に発表しないのには反対です。合同調査委員会が生徒の承認を得て作られたという性格からその主体はあくまでも生徒にあるので、もし議事録に先生の噂がのっているから発表はできない、というのでも当然生徒の承認をうけてからにするべきだと思う。

第三回先輩六学生に聞く会は指導部と新聞部の共催で去る七月二十九、三十日の二日間本校音楽室と各教室にわかれて多数の先輩と在校生出席のもとに行われ、第一日目は十二時から早六の岩谷氏による講演「なぜ六学へ行くか」が一時間にわたってあり、つづいて「六学紹介」で東京学芸六、京都工繊六、広島六、上智六、岡山六などが各先輩により紹介された。二時からは在校生の志望校別に教室をわけて各六学の先輩から志望校の内容や入試の問題の傾向などが話された。なおこの二日間

◇日時　十一月十九日（土）九時半より（五時終了予定）
◇場所　土佐高等学校講堂
◇演題　自由（制限時間十分）
◇出場資格　各校優秀弁士二人までとし、原稿審査により二十名採用。ただし学校長の許可を得た者に限る
◇審査員　高知県教育委員、高知短大、高知新聞社、NHK高知支局、本校より一名ずつ
◇表彰　一位高知市長杯および賞品、二位高知県教育長杯および賞品、以下三位から五位まで表彰。全員に参加賞贈呈
◇申込　申込用紙に所定の事項を記入の上、原稿を添えて十月廿日までに出して下さい採用通知は十月末日。詳細は採用通知のときにお知らせし
◇宿泊　宿泊を望まれる方には指定の旅館をお世話します

第2回 四国四県高等学校弁論大会

主催　土佐高等学校弁論部、新聞部
後援　高知新聞社、ラジオ高知、N・H・K高知支局

講演や大学紹介
…先輩大學生に聞く会開かる…

まず第一日は音楽室で東六の丸山氏、笹河さん、一ツ橋六の岡林氏早六の福島氏ほか数名により「予備校と浪人生活」「都会の経済生活」と題して、一般生徒との質疑応答があり、二時から京六の岡林氏が「京六事件の真相報告」をユーモアをまじえて面白おかしく話した。また三時からは話し合いの会「六学入試と土佐高生活」との題で約二時間、中学入試問題や同盟休校について時に熱心に討論された。

先輩訪問記 ⑳
—高知県警察部通信課—
（九回生）和田富二雄

和田さんのお仕事は県庁の通信課の通信員をそうです。通信といえばすぐにあの「ツートン・ツートン」を思い出しますが今は無線の方をやっておられるそうです。

◇

「僕の中学時代には寮に入っていてね。その当時夜間外出を禁じられていたんですが、夜おそくなって上級生が菓子を買って来いと言うんでね、ふとんの中へ枕を入れて出て行った後で、見まわりの先生に見つかってね「枕が寝ゆう」なんてよく言われたもんですよ」と笑う和田さんの寮生活時代を伺ってみました。

◇

昔は生徒が全校を通じて一五〇人程の校長室に誰が入って来たか、ちゃんと知っておられましたね。先生の感の鋭さには驚きました」

「あの先生の教育法はイートン六学的な学風を取り入れて英才教育でしたけれども、今考えて見ますとつめこみ主義の勉強が良かったか悪かったか判りませんが、上級進学のためには良いでしょう」と言うような御意見。

◇

和田さんは終戦の頃から県庁に勤められ、この栄光ある三十五周年にあたり新しい気持をもっていままでの土佐甲・高に対する観念から一歩脱をすすめようではないか。そして三十五周年の伝統をもつ土佐を、より一層光美したものにするために、生徒一人一人が心から協力し、次の時代の人に立派にそだてて手渡そうではないか。

懐しい〝おとう〟時代

ものですから、皆に半年ぐらいで覚えるとわずか、二人ぐらいだったので、全校が家庭的で全部の人の名前を知っていて生徒達は、三根先生を〝おとう〟と呼んでいたそうですが、先生御自身でも〝おとう〟とおっしゃっていたそうです。今は何で呼びますかときかれたので〝山猫〟ですよというと家庭的でいいねといって洪笑されていた。「学科では数学が好きでしたね。僕は予科の方から入っ

会長に曾我部氏（一回生）
同窓会会則変更さる

昭和三十年度定例の同窓会総会は八月十四日の日曜日に午後一時から本校講堂において開かれた。当日は約三百名の同窓生が出席したが、総会はまず大島会長の挨拶のうち、ただちに細木副会長の議長で昨年提案されていた会則の改正に関する討論にうつった。会則の改正については岩谷清水氏（早六二十七回生）からの説明があったが、議題は会長を本校校長とするかどうかに集中し、賛否の意見が活発に出されて、激しく討論されたが、けっきょく原則として校長を同窓会会長とせずに、会長は総会で高知市、あるいは同市附近在住の正会員から選出されることになった。主な会則の改正は以上のほかに、条項がくわしくなったこと、文体が現代文にかき変えられたことなどである。

ひきつづいてこの新会則にもとづき幹部の変更が代表者により校長室で行われたが会長には前正会員の曾我部清澄氏（一回生）副会長には前回と同様細木志雄氏（一回生）大島校長は名誉会長となった。なお幹事は一回生より二十一回生まで、二名回から一名（十三回）三名、十六回生に二名）二十二回生

曾我部会長

細木副会長

全九州を一周
高二で行く修学旅行

現在の高校二年生は高三での修学旅行を今年の秋にくりあげて、十一月の初めに出発することになった。

今年も二班にわかれて出発するが一班は十一月一日（水）朝T、OKの三ホーム、翌三日（木）にHSホームがそれぞれ旭駅を出発、別府をふりだしに霧島の林田温泉熊本内牧温泉、雲仙、長崎を廻る全九州一周旅行で帰高は一班は九日（水）の十八時四十五分高知着の列車で、また二班は十日（木）の同列車の予定である。

今度の旅行にはツーリストがついて行くが乗物、宿所の世話は全部ツーリストにまかせてあって、その心配はないようである。またとめておられるそうですが、自分では嫌いだそうです。

終戦当時は警察の通信機関は全然発達していませんでしたが、見る見るうちに発達してきて、今では電送やパトロール・カーの通信なども発達して、犯人の追及がはやめられて、自分ながら驚いていますと、このようにおっしゃっていますと。

「この間試験問題が漏れたとかで大変さわがましたね。新聞で読みましたが、同盟休校までやって徹底的にやったのは良かったですよ、もしあのままほっておいたら、うやむやになって名誉にかかわる所でした。昔は先生は二十名ぐらいでしたが、皆人格者でね、そんなことは一度だってなかったですよ、お互に尊重しあってこそほんとうに良い教育が出来るのでしょう」と静かに語られる和田さんの表情には母校を思う愛校心がいっぱいみなぎっていました。

測量計一般に解放さる

体育部の教員の部屋が体育館の二階に移り、あとに身長計、体重計、座高計の三つの測量計がおかれ生徒が自由に身体の発育が計れるようになった。学校側も放課後などに利用して、体位向上の一助になればと云っている。

またもし破損した場合には個人の負担で修理し、破損した者がわからないときには、修繕費を一般生徒が負担するように委員会で決議された。

競争率四倍の中一編入試験

さる七月二十六日例年どおり中一編入試験が行われたが、これを受験した生徒は十五名の募集に対し六十三名という四倍強の競争率であった。またその父兄が中学入試漏洩問題や同盟休校を重視していない点は注目される。

いとこと

◆…ようやく秋らしい気候となってきた今日この頃、生徒の間では早くも恒例の六運動会について、いろいろな噂がとんでいるが、我々は終始愉快に気持よくゲームしこの六運動会を真に有意義な秋の祭典としたいものである。

◆…健康な頭脳は健康な体力に宿ることに明らかであり、どちらが欠けていても完全ではない。運動を通じて肉体的なものと精神的なものとを調和し、それに知性が加わってから、はじめて統一のとれた人格の発達が望まれる。だからスポーツの力はなほだ大きく、運動会のもつ意義もそこにあるのである。参加者なこの運動会の意義を考え、あくまで学生らしく、一技一動にベストをつくしてプレイしなければならない。

フェア・プレー精神

◆…大会でいつも感じることだが、こんなときには群衆心理に非常に作用されやすい。たとえば私達は校員をひんぱんに使用するが、とかくこれらを乱暴に取扱ったり、破損したりすることが多い。またいろいろの物を散乱させたり不潔にしたりするこのようなことがないようにするためには、我々は運動会などというフンイキにまけないしっかりした気持をもたねばならない。公共物を大切にし会場を清潔にすることは、これを使用する人の人格に関する問題であり各人の自覚によって公共物の破損や会場の不潔を防ぐこともできるのだ。

◆…また応援の場合も冷静さを失って軽はずみな行動をとったり、つまらないあらそいをするようなことは慎まなければならない。

応援も大会の一つの大きな要素であり、その態度は生徒の品位はもちろん、競技の品位にも大きな関係があるのだから、これについても慎重に考えて行動する必要がある。

◆…いままでの諸行事において示してきた委員会の熱意と努力に対しては敬意を表するが、仮装行列、ファイア、ストームなどいろいろの問題のある運動会が生徒委員会の一人相撲に終らぬようおおいに活躍を期待したい。

（T・K）

メガネ専業
イリキ眼鏡店
高知ハリマヤ町　電話998番

らくがき

夏休みが終ってはや一ヵ月という時間が過ぎさった。そしてあたりにはようやく秋のけはいが漂いはじめた▼秋といえば昔から今日に至るまでいろいろといわれている。たとえば読書の秋、勉学の秋、稔りの秋、芸術の秋、スポーツの秋などがそうである▼そして本校の秋の行事には運動会、高校の修学旅行、本校主催の弁論大会など種々が予定されている。なかでも秋晴れの大空の下に毎年くりひろげられる運動会は若さと力に満ちて、若人の祭典ともいうべきものであろう▼いっぽう世間では今年は例年になく有史以来の〝大豊作〟だそうで、今後は台風の心配もなさそうだし、稔りの秋を人々は満喫しているようだ。そしてまた、スポーツでは国体の夏季大会がひらかれていて、人々の心はなんとなくうきうきしているようだ▼本校もこれからが行事のシーズンだから雑用にとりまぎれて、ウカウカと秋を過し、気がついてみれば、冬になっていたということにもなりかねない▼スポーツや芸術を楽しむこと、運動会を楽しむこと自体に決して悪いことではない。いや、奨励すべきである。しかしそれも度をすごしてはダメだ。勉学という学生の本分を忘れるようなことがあってはならない▼また外面的な問題にのみ関心をもって内面的な心の問題をおろそかにしてはならない。〝思案の秋〟という言葉もあるように秋はじっと心をあの秋空のように澄ませて物事を深く考えてみるときでもある。人生や自分というものや、また校内明朗化に関して考えてみてはどうろう▼学園明朗化といえば、いま委員会でとりあげられ討議されているが、これは本校生徒ひとりひとりの問題、もっとも身近な問題であるから深く考えてみる必要のあることは当然である▼スポーツもいいが、それ以上に、まだ中学入試事件、定期試験の問題でもモヤモヤしたものを残している校内を浄化し、明朗化し、理想的な学園とするためには〝思案〟する必要があるのではないだろうか。（M・T）

土佐名産
かまぼこ
立石蒲鉾店
本店　高知市新京橋（TEL,179）
支店　高知市はりまや町（TEL,4148）

参考書と辞典類は
最も豊富に取揃えている
新刊書 雑誌　明文堂
堺町（四銀西隣）
TEL・295

学生服は専門店で…
各種サージ多数大量に取揃えて居ます
学服組合　本町二電停北側　電2744番

読書の秋！
参考書は当店
雑書 新刊 誌籍
金高堂書店
帯屋町六八
TEL・三八六四

三十五年の歴史をまもろう

主張

来る十一月十八日でいよいよ本校も三十五周年を迎えることとなった。六正九年に創立されてから、三十五周年という長い年月の間には幾多の困難がおそいかかってきた。その中でも最も大きかった事件は戦災による校舎の焼失と、今春起った中学入試漏洩事件である。前者は校長をはじめ、諸先生方、全校生徒の血のにじむような努力と、振興会その他熱心な援助により、県下に誇る立派な校舎や体育館が完成して復興をみたのである。後者は事件発生後今日まで六ヵ月を経過しているが、その解決は困難で先頃の三先生の退職によっていろいろ解決をみせたかにみえたが、いまだに疑問ある点を多く残して、真の解決への道にはほど遠いようである。

我々の先輩は多くの苦しみ、困難をのりこえて三十五年の歴史を作り上げてきたのである。これを機会に改めて、現在の本校の本当の姿に目を向ける必要があるのではないだろうか。終戦後、新制士佐中、土佐高校は新しい目的に向って出発した。そしていろいろおそれは達せられたかのように思われている。だが残念なことにそれは外見的な面にすぎず、内容がそれに伴っていなかったと云わざるを得ない。なるほど東六へは十三名合格し、野球では甲子園で準優勝した。しかし、現在の本校に精神的なもの、学校において最も重要である校風がしみとおっているだろうか。教育の十目標の中に「公共物の愛護実践」とあるがこれなど全く守られていない。机に落書したり、つまらないヒロイズムに駆られて壁の板をたたきやぶったりするのは魂の骨頂だといえよう。

また、自主的精神の涵養とあるが委員会は委員が欠席するためにしばしば流会となり、ホーム・ルームは模擬試験に化ける状態である。そして我々は学校に命ぜられるままに動いている。当番をさばるのは勤労と責任の軽視である。このように例をあげればきりがないが、この栄光ある三十五周年にあたり新しい気持をもっていままでの土佐甲・高に対する観念から一歩脱をすすめようではないか。そして三十五周年の伝統をもつ土佐を、より一層光美したものにするために、生徒一人一人が心から協力し、次の時代の人に立派にそだてて手渡そうではないか。

明朗化は自分達から

新学期が始まった。そして新鮮な気持で勉強に入ろうとしているのに、まだ一学期からくすぶりつづけている中学入試漏洩問題が心を暗くする。

合同調査委員会は三先生の辞任により一応の解決をみたとして解散し、学園明朗化の問題は新らしい委員会に一任された。そしてそこではこの手腕をより良くするために、一日一日と議論が闘わされている。しかし私達は、その間に考えねばならないことが山積しているのではないか。私達の日々の生活を振り返って、反省すべき点は全然ない、と大空に向って叫ぶことが出来るであろうか。

廊下や教室内を見まわしてみたまえ。そこには塵が散乱し、どちらに教壇があるかもわからないような様がえがかれている、さらに眼を壁に転ずれば六きな穴がまるで地獄にさそう門でもあるかのように口を開いている。これは一体誰の責任であろうか。これをも先生方の教育のしかたが悪いのだとわりきって考えるのだろうか。まさかそんな人はいないであろう。このようなことをする人々が、果して人の罪を責める権利があるであろうか。

便所の戸を開いてふたたび驚かされた。そこの壁の落書き、これが学生の書くものであろうか、ある先生は便所が勉強の出来る一番静かな場所だとおっしゃっていたのに、同じ落書きでも何か学問的なものでもあろうかと思ったのだがあまりのことに用をたすのも忘れて飛び出してしまったとも云われる。何が書かれてあるのか、こんなに明らかにすることはばかるが、このようなくだらぬことをする生徒が先生の非をあばいて悦にいっている現実を見、頭から冷水を浴びたように感じたものだ、このようなことでは真の学園明朗化はあり得ない。明朗化はまず自分達生徒から実行に移して行かねばならない。学校側に要求するだけでは断じていけない。学校側にこうしてもらいたいと思ったことがあるならば自分に恥じることのない真の生徒になってから要求しても遅くはないであろう。校内の明朗化は自分の心の明朗化がなってから始めてなるものなのだ。新学期を契機に心の充実をし、明るい気持で、学生の本分である学問の道にまい進して行こうではないか。

行過ぎた同盟休校

結果は良かった盟休

入試に関し活発な意見

司会　中学入試の問題の漏れた原因からおたずね致したいと思いますので何か……。

例えば教育方針その他から考えて

A　原因と言うのはむずかしいですが私は講堂が建って、本校の内容が充実したかに見えましたがこれは単に外見的なことにすぎず校風が爛熟していたように思われます。

B　本校は志願者が多く、試験制度があるので受験者よりも親の方が一生懸命になる、そういう精神的な面にもその原因があるのではないでしょうか。

C　私立は公立と違って経済的な面で、私生活と公共的な金銭のみきわめを軽減して、それがかさむうちにだんだんずうずうしくなってきて、頼まれてもとわれずこういう結果をもたらしたと思うんです。

司会　同盟休校までにとられた先生方の態度として自覚委員会を開いたが、他に方法がなかったかおよび生徒に対してもっと協力的な態度に出ることができなかったなどについてどうでしょう。

C　あの当時にまだ先生方でそれをもみ消そうとしていたようでした。

A　先生方は自分達のことを生徒に騒いでくれるなと言うのは、やはりもみ消そうとした意志があったにちがいない。校長は世間体だけしか考えていないようで、生徒が主であることを見のがしていたのではないでしょうか。

B　しかし同盟休校まで持っていったのは少し行き過ぎであったかと思います。

C　同盟休校をやったという事実については行き過ぎていたとは僕は思うが、結果としては良かったと思う。（全員そうだね）

A　あの当時生徒側でも自分の本心からでなく大勢の力でやろうとした傾向、すなわち群衆心理によって行おうとしたのは良くないと思います。

司会　手段としては悪かったが結果的には良かったと言うのですね。それでは同盟休校の際、学校側と生徒代表との話合のとき、西野先生が合同調校委員会を設けるのを提案して同盟休校を中止したことについて何か……。

C　あそこまで行ったら同盟休校というものは、もはや必要ではなかったようです。

B　会のとき責任者の追及を目的でやったのに他の先生が辞職すると言いだしたので、全然別な方向へ行ったので一時はどうなるかとびっくりしました。

先生の独断を憂う

大切なこれからの自粛

司会　生徒側が学校側に対して三つの要求すなわち発言権の強化および自粛を願いいれる、これから問題を絶対に漏らさぬようにしてもらうなど以上のことが出されましたが……。

C　ふだん生徒の意見があまりにも無視されているので、問題の漏洩だけでこんどの同盟休校が起ったとは考えられない。

司会　同盟休校の結果がどういう面に見られると思いますか。

C　発言権の強化については確かに意味があったと思う。

D　学校の経営にはいろい私立だからと言って、校長の意見だけでやるのはどうかと思う。

司会　生徒と先生との間に溝ができたようなことはないでしょうか。

A　生徒はそんなことはないと思いますが……。

F　これからも漏洩が起らないともかぎりませんし、よっぽど全職員が自覚すべきですね。

司会　このたび三人の先生がおやめになりましたが、そのことについての御意見はありませんか。

A　これはっきりした確証がつかめていないのじゃあないですか。校長先生の考えでそうなったのはこのときとおもむろに近づき「ヴェア・ハブ・ユウカム・ヒアー?」と問うが全然通じない。相手は首を振り一人で何やら早口でペチャクチャやっている。しかしわが愛すべきサッカー部員は「こいつらあ文法を知らん」と一度、二度と絶叫するうちに、とうとうわかってくれたのか「オオ・フロム・カサブランカ・イン・モロッコ」と答えてくれたので喜んだ部員矢つぎ早やに英語を使うが英語が不得手と見えてまた頭を振るばかり、やけになった一人が一番やさしいやつでと「マイ・ネイム・イズ・ハナティン」とやると「オオ・ハナティン・サンキュウ」と言って握手を求めてきた。ところがその手がかぎって握れずカサブランカ君の手の中にすっぽり入ってしまい、ギュウと握られて「イタイ」と悲鳴をあげてしまったが、このときばかりさすがに英語は使えなかったという。

◇…汽車は札幌郊外をひた走りに走る。窓の外があまりに殺風景で切株ばかりなのを見て卓球部の顧問の松浦先生「札幌には旅館があるろうか」とさも心配そう。これを聞いた武田君、自身ありげに「もちろんありますよ」と答えたので赤犬先生「ほう、なかなかくわしそうだのう。お前は札幌市長かよ」とおっしゃったので遠征中に宿をとっていたお客さんはびっくり。蚊のように飛び起きて一晩中耳をつぶしていたという。そのためか翌朝女中さんに「あの先生のいびき、ほんまにものすごい」とやられて、部員が眠れず試合に影響してはと心配も手伝ってわざわざ離れの別間に移られた。これが幸いしてか西森、畑山組は見事に国体への出場権を獲得した。

◇…サッカー部は西日本蹴球大会の広島におもむく。試合は一対二の同点から抽選に敗れ、うさばらしとそのの晩は繁華街をぶらぶらとほっつき歩いた。途中身のたけ一尺あまりの外人二名に出会い秀才教育を誇るわが校サッカー部員は、日頃習っている英語を生かすのはこのときとおもむろに近づき「ヴェア・ハブ・ユウカム・ヒアー?」と問うが全然通じない。相手は首を振り一人で何やら早口でペチャクチャやっている。しかしわが愛すべきサッカー部員は「こいつらあ文法を知らん」と一度、二度と絶叫するうちに、とうとうわかってくれたのか「オオ・フロム・カサブランカ・イン・モロッコ」と答えてくれたので喜んだ部員矢つぎ早やに英語を使うが英語が不得手と見えてまた頭を振るばかり、やけになった一人が一番やさしいやつでと「マイ・ネイム・イズ・ハナティン」とやると「オオ・ハナティン・サンキュウ」と言って握手を求めてきた。ところがその手がかぎって握れずカサブランカ君の手の中にすっぽり入ってしまい、ギュウと握られて「イタイ」と悲鳴をあげてしまったが、このときばかりさすがに英語は使えなかったという。

◇…汽車は札幌郊外をひた走りに走る。窓の外があまりに殺風景で切株ばかりなのを見て卓球部の顧問の松浦先生「札幌には旅館があるろうか」とさも心配そう。これを聞いた武田君、自身ありげに「もちろんありますよ」と答えたので赤犬先生「ほう、なかなかくわしそうだのう。お前は札幌市長かよ」とおっしゃったので遠征中に宿をとっていたお客さんはびっくり。蚊のように飛び起きて一晩中耳をつぶしていたという。そのためか翌朝女中さんに「あの先生のいびき、ほんまにものすごい」とやられて、部員が眠れず試合に影響してはと心配も手伝ってわざわざ離れの別間に移られた。これが幸いしてか西森、畑山組は見事に国体への出場権を獲得した。

◇…サッカー部は西日本蹴球大会の広島におもむく。試合は一対二の同点から抽選に敗れ、うさばらしとそのの晩は繁華街をぶらぶらとほっつき歩いた。途中身のたけ一尺あまりの外人二名に出会い秀才教育を誇るわが校サッカー部員は、日頃習っている英語を生かすのはこのときとおもむろに近づき「ヴェア・ハブ・ユウカム・ヒアー?」と問うが全然通じない。相手は首を振り一人で何やら早口でペチャクチャやっている。しかしわが愛すべきサッカー部員は「こいつらあ文法を知らん」と一度、二度と絶叫するうちに、とうとうわかってくれたのか「オオ・フロム・カサブランカ・イン・モロッコ」と答えてくれたので喜んだ部員矢つぎ早やに英語を使うが英語が不得手と見えてまた頭を振るばかり、やけになった一人が一番やさしいやつでと「マイ・ネイム・イズ・ハナティン」とやると「オオ・ハナティン・サンキュウ」と言って握手を求めてきた。ところがその手がかぎって握れずカサブランカ君の手の中にすっぽり入ってしまい、ギュウと握られて「イタイ」と悲鳴をあげてしまったが、このときばかりさすがに英語は使えなかったという。

◇…汽車は札幌郊外をひた走りに走る。窓の外があまりに殺風景で切株ばかりなのを見て卓球部の顧問の松浦先生「札幌には旅館があるろうか」とさも心配そう。これを聞いた武田君、自身ありげに「もちろんありますよ」と答えたので赤犬先生「ほう、なかなかくわしそうだのう。お前は札幌市長かよ」とおっしゃったので遠征中に宿をとっていたお客さんはびっくり。蚊のように飛び起きて一晩中耳をつぶしていたという。そのためか翌朝女中さんに「あの先生のいびき、ほんまにものすごい」とやられて、部員が眠れず試合に影響してはと心配も手伝ってわざわざ離れの別間に移られた。これが幸いしてか西森、畑山組は見事に国体への出場権を獲得した。

◇…サッカー部は西日本蹴球大会の広島におもむく。試合は一対二の同点から抽選に敗れ、うさばらしとそのの晩は繁華街をぶらぶらとほっつき歩いた。途中身のたけ一尺あまりの外人二名に出会い秀才教育を誇るわが校サッカー部員は、日頃習っている英語を生かすのはこのときとおもむろに近づき「ヴェア・ハブ・ユウカム・ヒアー?」と問うが全然通じない。相手は首を振り一人で何やら早口でペチャクチャやっている。しかしわが愛すべきサッカー部員は「こいつらあ文法を知らん」と一度、二度と絶叫するうちに、とうとうわかってくれたのか「オオ・フロム・カサブランカ・イン・モロッコ」と答えてくれたので喜んだ部員矢つぎ早やに英語を使うが英語が不得手と見えてまた頭を振るばかり、やけになった一人が一番やさしいやつでと「マイ・ネイム・イズ・ハナティン」とやると「オオ・ハナティン・サンキュウ」と言って握手を求めてきた。ところがその手がかぎって握れずカサブランカ君の手の中にすっぽり入ってしまい、ギュウと握られて「イタイ」と悲鳴をあげてしまったが、このときばかりさすがに英語は使えなかったという。

札幌市長現る

三各部遠征うらばなし三

欲しい生徒の関心

A　生徒の方にも少し緊張がかけていたようですね。もっと生徒らしいはつらつとした態度がほしいですね。

E　一般に本校の生徒は利己的で一般の生徒はもっといろいろな問題に関心を持たなくてはならないのです。じっさい活動しているのはほんの少数しかいない状態です。

C　本校の生徒はホーム・ルームの時間のクラス会のときなどは関心が薄くて内職をやっている生徒が大部分あります。

A　土佐高の生徒は共同心が無いので、もっと高一ぐらいのときからそう言う精神を養っていかねばならない。というのも先生がそういう利己的な感じを与えているからではないでしょうか。

F　先生があまり独断的であったし、生徒もまたそれに慣れていたようですね。

司会　生徒の間ではその辞職さした先生の資料の確証を発表してもらいたいという意見があったが

E　発表がなかったのは、他の生徒はほんの少数しかいない状態です。

C　本校の生徒はホーム・ルームの時間のクラス会のときなどは関心が薄くて内職をやっている生徒が大部分あります。

A　土佐高の生徒は共同心が無いので、もっと高一ぐらいのときからそう言う精神を養っていかねばならない。というのも先生がそういう利己的な感じを与えているからではないでしょうか。

F　先生があまり独断的であったし、生徒もまたそれに慣れていたようですね。

司会　生徒の間ではその辞職さした先生の資料の確証を発表してもらいたいという意見があったが

E　発表がなかったのは、他の先生に対する体面があったのでしょう。

C　調査委員会が秘密的に行われたのでその結果が判らなかったのはあまり良くなかったと思う。

A　うわさだけではけっきょくどうのこうのと言えないですからね。

D　学園明朗化運動は全生徒が主催となって、じっくりやっていくことを望みますね。

司会　これからこういう失敗をくりかえさないよう、またこれを きっかけにして、ますますこの学校を向上させていきましょう。でもお互に念願しながらこの会を終りたいと思います。

生徒委員の協力を

開かれ、学園明朗化については げしく議論されており四役の努力に目にあまるものがある。しかし生徒委員諸君のなかには、かならずしも熱心であると言えない人が多分にいる。それは委員会の中席率をみてもわかることだが、いつも定員数に足りず委員会の席にかかっているというも過言ではないのである。今委員会では毎日のように議会が 責任を感じていないものもいるようである。もってのほかなことと言わねばならない。生徒委員諸君は学園明朗化などという重大な問題を、生徒に依頼され、まかせられてやっているのだ。自分達はこの大切な問題を土佐高、中学のためにやっているのだという自覚と強い責任感をもって、種々の問題にあたっていただきたい。そしておおいに四役の手足となって活躍してほしい。また委員会の決議事項は、それをただ口先できめるだけでなく実行に移していただきたいと思う。とかく口だけに終りやすい委員会の決議を"あたってくだける"という意気込みをもってやっていただきたい。（高一O生）

新聞

新学期とともに委員会も活気をおびてきまたいそがしくなった。四役にもそれぞれの適任者が決りその前途は明るく開けている。一学期からくすぶっている中学入試漏洩問題、運動会のフィアー・ストームや仮装行列の問題、はたまた学園明朗化の問題などは委員会に課せられた仕事は山とつまれているが、それだけ生徒委員諸君と四役は努力するかい

ちょっと失礼

山本先生の巻

朝夕の風も肌寒くなったある日曜日の朝、記者は市内中新町の山本先生のお宅へお伺いした。前々回チョット失礼の富田先生は中学野球部長、今回は高校野球部の〝古狐〟いや〝育ての親〟である山本先生をお伺いしたという次第。記者がお訪ねした時には先生はちょうど起きられたばかりだった。奥さんのお話によると、先生は相当な朝寝坊らしく、海南中学時代には、いつもすべりとみて〝ベル〟というニックネームがついていたことがあるくらいだから諸君も想像できよう。山本先生といえば、富田先生どうようにもちろん野球のことから話さねばならない。

先生のアルバムは、野球関係がほとんどで「土佐高野球部の歴史」といってもいいくらいである。「本校の野球の草分けとなるんだ。職員チームと寄宿舎チームというのを編成して試合をした。たしか職員側は校長がセカンド、西野教頭がピッチャーだったよ。八対五であの時は我がチームの惜敗だったが、また始められたのことである。数学を始められた動機については「僕は昔広島高師を受験したことがあるんだ。数学は自信があって僕は確実通ったと思っていたんだが、良く出来たと思った数学で失敗してすべった。そこでチクショウ数学めというわけで、勉強しはじめた。そして現在数学の教師ってわけさ」と

数学が目のかたき

将棋は本校第一の腕

れが始まりだね」と懐しそうに語られる。野球についてもっとも印象に残っているのはやはり甲子園での準優勝と、商業との十九回の延長戦だそうです。また野球であまりお帰りが遅くなるので、家庭内でトラブルが起き、一年ぐらい野球をやめていられたそうだが、しかし、けっきょくカーンカーンと打つあの心持を忘れられずもとのとおり

おっしゃる。また先生は広島高師のほかに五回、すなわち合計六回もすべられたそうだ先生のごとき秀才が六回もすべられたのだから、我々も六校ぐらい受けてみることだ。「学生時代に印象に残っていることといえば戦中中で何から何まで拘束されていたので、楽しいことは少なかったネ。しいて云えば戦争だなあ。B29の爆撃で東京が焼けうである。しかし先生となった今、一番楽しみはお聞きすると「卒業生が、毎年ぶりかに訪ねてくれる時はうれしいネ。教師の楽しみのうち最上のものだ先生という職業はむつかしいがやりがいがある仕事だヨ」とほんとにうれしそうです。

先生の趣味はまた多方面にわたっている。碁や将棋、マージャンと勝負事がお好きらしい。将棋は本校では先生の右に出る者なしと自信満々。なにしろ道路で将棋を指していると、学校の帰りだろうとふろの帰りだろうと必ずのぞくというほどの熱心さ。真も校長先生の次だと自称せられる。

映画は最近行き出したそうで、安いからもっぱら洋和館だとのこと。映画や小説などはストーリイの三分の一ぐらいみて推理するのがたのしみだそうだ。

（M・H）

先生御家族

比島にも支那ハマグリ

中山先生が発見

貝の御研究をされている本校教諭中山駿馬先生は最近比島から約五千八百個の貝類を採集せられ、珍しい支那ハマグリやハイガイなどが約七百年前には比島にも棲息していたことを発見した。

そのうち約四五%くらいしか浦戸湾に現存しておらず、地質や気候その他の環境の変化にともなって次第に減亡しているのと見られている。

中山先生談　南海地震で地盤が沈下した龍野方面の土地改良のために、高知市が比島の鉄橋下流の久万川の泥土を掘り上げて約四十町の稲田のカサ上げをしたところが、めずらしい貝殻が出てきたので日曜毎に出かけて五千八百余個の貝殻をもち帰って研究している。その貝類が殆んど暖海種で二十科六十種位に分類された。現在の浦戸湾に現生しないものが約半数ある。また陸沿岸と共通な種が二十五%もあって日本が昔アジア大陸と続いていたと考えられる。後に島化してから環境の条件の変化のためにだんだんに減亡しつつある種がいろいろある。

明暦元年（西暦一八五五年）野中兼山が江戸からハマグリを持って帰った話は有名であるが、比島からも丸形の輸入の浅いシナハマグリが出る。また今の丸の内高校のプールを作ったときにも地下五十尺の底からハマグリの半化石が出た。数年前朝倉町の下水道工事のときもハマグリの半化石が出た。これらは千位の単位では考えられない。現生するハマグリは幡西から甲浦迄あり、日本では本州、四国、九州に普通である。昔のきれいな浦戸湾は泥質砂層にすむ貝類が非常に栄えていたが、年と共にしだいに減亡していったことを考えるとただ感慨無量である。

高新連総会開かる

第五回全国高等学校新聞連盟総会がさる八月五日から三日間、大阪市阿倍野高校で開催された。この会は全国から集った高校新聞編集者が当面している諸問題を討議し新聞を通じての意見を交換し、全国高校生の発言機関である学校新聞に寄与せんとするものであるが先頃この総会の大阪事務局が五万円を消失するという不祥事件を起して総辞職するにいたり、東京ブロックと中国ブロック事務局移動に関して対立、けっきょく東京事務局を置くこととなった。この結果に対し中国ブロックは委任状不明として本部（大阪）に選挙無効を申し入れたが受け入れられずついに高新連脱退を決議したなお高知県からは本校新聞部が出席したが、本部との連絡はとらず四国四県と高知県下高新連結成に協力することになった。

出席者氏名

高三	松本	祐一
高三	森下	睦美
高二	森本	堯士
高一	梶	眞智子
SHT	久保地	理介
公文	板原	啓一
司会	沢	正伸
速記	森	俊策

▽消息△　本紙東京支局顧問の岩谷清水氏は左に移転した。都内中野区江古田　四ノ一九二五千葉正巳方

吹鉄

◇…二人の先生が本校から去られた。校長は「理由は推量してくれるようにと思わせぶりな言葉でかたづけられたが…

◇…送別式で、その一人鎮西先生は、入試問題漏洩事件に関して自分の潔白をくり返し強調せられた

◇…根拠のない推量がいかに危険なことであるかを痛感させられると同時に、自分は始めから終りいやいやまで、けっきょくけむにまかれていたのではないか、とも思ったのです。

◇…だが、自分達をけむにまいているのがいったい何であるかということにさえ、疑問を抱かざるを得なくなっている自分を発見して、いまさらのごとく驚かされたのです。（鯉田）

新任

瀧石登鯉

このたび谷岡教諭の後任として国文学担当の瀧石登鯉（タキイシトウリ）教諭氏が赴任せられた。瀧石教諭は高知師範御卒業後、教育生活二十年といわれるが、以前には土佐女子高校の校長もせられたそうで本校の吉本要教諭とは同窓生との由、御趣味は読書、若い頃にはボートや剣道などをなさったそうである。赴任後、本校生の第一印象はどことなく気品があり真しな態度で他校と異り、特に女生徒は活発でほがらかであるとのことであった。御住所は高知市の新屋敷である。

新刊

「同窓会向陽会会員名簿」

◇新聞部編集◇

一九五五年度の同窓会会員名簿が発行された。内容は前年度のものよりさらに充実し、在校生全員の住所氏名ものせられている。B6判百五十六頁、発刊中、百円

〃鎮西先生送別会行わる〃　図画室において美術部員による鎮西先生送別会が行われた。会は部長沢村君の送別の辞、つづいて鎮西先生御自身の経歴や今後の美術部のありかたなど歓談をもって、なごやかな雰囲気のうちに幕をとじた。

対工業写真展開かる　九月廿一日から廿五日間、北村商会主催の高知工業と本校との対抗写真展が、同店階上ギャラリーで開かれ、工業から三十一点、本校からは六十八点の作品が出品され、各校六点が入選と決まった。本校高一Tホームの山本康博君は十六点を出品し、内四点が入選するなど、目ざましい活躍をした。

ピックアップ

いかれた二人組

近ごろどうしたせいか、この涼しいのに水着ならぬ制服のまゝで本校プールに飛び込むという事件が校内に二つ起った。

その一つは去る九月八日の六時間目のこと。高三A君、プールに腰をかけていたB君をびっくりさせたが、つい手に力が入った。つかれたB君スワットばかりについたA君をなすまじと、しっかりつかんだからたまらない、そこで二人仲よく御水浴。時計もおかげで風邪を引き、あとにはポッカリとポーシが一つ印象的。

あとの一つは九月十二日の水泳大会終了後のことである。

高校生徒会委員長の高一O君、高一I君とダワムレていて、ついあやまって、アワワ、ジャッポンといってしまった。このO君ンマッタと思ったが後のまつり、皆も見ている中だとてユウユウと一泳ぎの後、高一I君にひっぱりあげてもらった。後でこの男が言うには「頭がスーとして気持がよかった」とはなかなか負けおしみが強い。

写真は引き上げられる高二〇君

十五秒九とは

生徒委員会主催の校内水泳大会も有志連の努力と選手達の奮闘とで、どうやら無事に終った。

これはその水泳大会でのオハナシ一五〇メートルメドレーリレー決勝で中二と対抗した職員チームはその辛戦むなしく最下位に敗れ去ったが生徒に軽く二〇メートル引きはなされた職員チーム、アンカーの松浦先生は、ぬき手を切って十五秒九、それは早くて目をつむっていれば見えないほどでした。ところがこの松浦先生、昨年は十八秒でお泳ぎなられたことは周知のとおり、しかるに今年は十五秒九なのであるよっぽどうれしかったと見えて、このタイムの発表を聞くや先生曰わずニッコリとなさった。先生の曰く「先生のあんなにうれしそうな顔は初めてみた」とは生徒も口の悪い。

掘出物

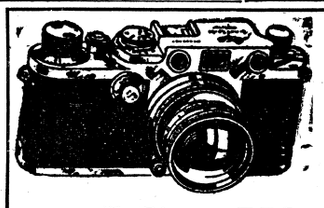
このほど職員室で古教科書の無料公布を行ったが、それを聞いた生徒達ソレッとばかりおしかけて、手あたり次第にあさって来た。中には休み時間ごとに行って数十冊の本を取って来た者もあった。ほんとにただなものに対するその心や恐ろしである。

近版塞翁が馬

夏休みの前の頃のこと、中一の人数を三〇〇名にするために約十名ぐらい入れるための編入試験を行うこととなったが、たった十名の応募に驚くなかれ、なんと六、七十名の志願者があったとか、それも例の同盟休校のごりやく?があったと言う人もいる。とんだ所で有名になったものである。まったく人間の運命とは判らぬものよ、とはこのこと「またやらにゃあいかんねや」なんてのんきなことを言っているのは誰だ。

明るい技術の店
成岡時計店
土佐高西門通り
高知市梅ケ辻

古本は誠実で安い　井上を
古本売買　井上書店
高知市帯屋町中ノ橋　TEL 3921


カメラは
キタムラ
堺町　TEL 860・3154

和洋菓子・パン
公設のヨシモト
高知市大橋通り公設市場
TEL 795

秋は流行のシーズン
ボストンバック
手提カバン
弊店が皆様に贈る優秀品
高知専門店会の店
帯屋町一丁目北側
電 1290・3847
マエダ鞄店

制帽は校風をあらわす
土佐高生の店
元田帽子店
高知市帯屋町二丁目
TEL 2591

ネックタース
イヤリング
ブローチ
珊瑚
ならびに装身具いっさい
池田珊瑚店
高知市帯屋町下一丁目
TEL 3268

土佐高の店
北側に移転
白五堂
高知市帯屋町
ETL2473